



ISHIGATARI

400年の
歴史の扉を開ける旅



KITAMAE BUNE

荒波を越えた
男たちの夢が紡いだ
異空間



ふくい日本遺産を巡る旅

ふく く ト リ ッ プ



TETSUDO

海を越えた鉄道



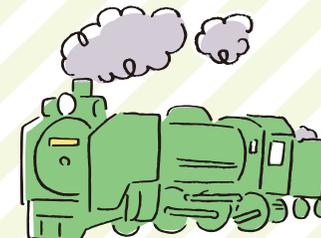
ECHIZEN YAKI

きっと恋する六古窯



SABAKAIDO

海と都をつなぐ
若狭の往来文化遺産群



[発行] 福井県交流文化部文化・スポーツ局文化課

日本遺産 福井

福井県福井市大手3丁目17-1 ☎0776-20-0572 FAX 0776-20-0661 (令和5年 3月発行)



詳しくはこちら



日本遺産

ふくい 日本遺産を 巡る旅

「日本遺産」は、その土地の価値ある歴史や文化、伝統にまつわるストーリーを国が認定するもので、これまでに全国で104件が登録されています。そのうち福井県内に関連しているのは次の5件。①日本海の海の幸を都に運んだ鯖街道②江戸・明治期に日本海の物流を支えた北前船③日本古来の技術を継承するやきもの④越前焼⑤多様な石を用いたまちづくりや文化

⑤文明開化で国の発展に寄与した鉄道遺産——と、どれも魅力的なストーリーばかりです。それぞれのストーリーに関する文化財は、人類誕生以前からあるスケールの大きな地質や地形に関するものをはじめ、中世、近世、近代の遺構やモノ、食べ物や祭りまで、さまざまな年代と種類にまたがります。また地理的にも坂井から奥越、丹南、嶺南エリアと、福井

県内に点在しています。もちろん文化財は単体で訪れても興味深いものです。ですが背景にある豊かなストーリーを理解し、それらを関連づけて巡れば、訪れた時の楽しみが広がること間違いなし。観光視点だけでなく、自分たちが住む地域の魅力と価値をグンとアップさせてくれる日本遺産スポットを、ぜひじっくり満喫してください。

福井市・勝山市

石がたり-P10

福井(一乗谷)と勝山(白山平泉寺)では、中世に石を数多く使って作られたまちが栄えました。江戸時代に城下町が整備される際にも石が利用されました。石は朽ちることがないため、かつてのまちの様子をそのまま現代に伝えてくれます。まちづくりに使われた石、美しい庭石や石仏など精神文化を伝える石が、今でもしっかり街のあちこちに残り、まち歩きを彩るアクセントとなっています。

敦賀市・南越前町・坂井市・小浜市

北前船-P6

江戸時代から明治にかけて、日本の物流は海路を使って大量に物資を運ぶことができる大型船によるものが中心でした。特に「北前船」と呼ばれる商船は、大阪と蝦夷地を日本海回りで往復し、寄港地で物資を売買することで、各地の物産とともに人や文化を伝えて回りました。莫大な富を築いた船主たちは自分の地元にも繁栄をもたらし、その痕跡は今も男たちのロマンが感じられる名所となっています。

越前町

越前焼-P8

伝統的工芸品である「越前焼」は平安時代末期から続く古い歴史を持ち、その産地である越前は「日本六古窯」の一つ。原料となる土は鉄分、粘土分を多く含み、焼き締まりが強く多彩な焼き上がり特徴です。古くから人々の暮らしを支えてきたものづくりの精神は現代にも引き継がれ、今の暮らしに寄り添う種々の作品や新しい作陶も試みられています。

小浜市・若狭町

鯖街道-P4

日本海で獲れた豊かな資源で都の食文化を支えてきた若狭地方。奈良や京都の文化は「鯖街道」を通じて若狭に入り、生活に根付き独自の進化を遂げてきました。街道には神社仏閣も多く、古代日本を偲ばせる民俗行事も伝承されていて、ちょっとミステリアスな雰囲気。京に運ぶために発達した発酵食などの食文化からも、人々が織りなしてきた深い交流の歴史や文化を堪能することができます。

敦賀市・南越前町

鉄道-P12

明治の文明開化とともに誕生した鉄道は、人や物資を運び、日本の発展に大きな影響を与えました。特に敦賀と今庄を結ぶ旧北陸線は、鉄道遺産の宝庫として知られ、13基掘られたトンネルのうち11基は、現在も地域に密着した文化財として生きています。石やレンガ積みの壁面など明治の技術を間近に感じたり、各地域の食を楽しんだり、鉄道遺産の数々から当時の姿に思いを馳せることができます。